

全国聴覚障害者情報提供施設協議会 2025 年度総会及び第 21 回施設大会

～全国から 52 施設が参加 施設長会議・2025 年度総会が富山で！～

特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会の 2025 年度総会及び施設大会が、6 月 26～27 日、富山県で開催され、全国 52 施設の代表が参加しました。

第 1 日目には施設長会議、2 日目に総会があり、事務局を中心とする組織体制の見直しについて理事会から方針提起をして、意見交換しました。その後、施設大会が開催され「全聴情協の役割・将来ビジョンと全聴情協に期待すること」のテーマでシンポジウムがありました。厚生労働省、全日本ろうあ連盟、全国手話研修センター、全聴情協それぞれのシンポジストから「中央センター構想」にかかわるお話がありました。

来年の総会は、沖縄県で開催されます。九州・沖縄ブロックとして総会成功に向けて連携を図りながら取り組みたいと思います。



長崎県聴覚障害者情報センター
所長 西川 研

新型警光灯

新型警光灯は、聞こえない人や聞こえにくい人が警察車両の走行状況を見て判断しやすくなりました。

緊急走行時は従来の緊急感のある発光パターンですが、パトロール中はホタルの光が明滅したようなゆっくりとした発光パターンになっています。視覚的に判断しやすくなり、聴覚障害者だけでなく、県民にも分かるようになります。今後は、全国に順次導入されるそうです。

新型警光灯についてのセンターニュース手話動画もありますので、ご覧ください。

緊急走行中は緊急感のある発光



(「PATLINE」HPより引用)

パトロール中は警戒感を有した緩やかな発光

